

日だまりのようなあなたへ

吉川イツ子

富山県・三〇・主婦

あなたと結婚してもう四カ月が経ちましたね。あなたと出会ってから、時間が流れ星のように流れていきます。

あなたとの突然の出会いを私がこう表現した事がありました。

大きい石につまずき倒れている時、ふと顔を上げるとそこにあなたがいた。そして私は優しく差し出された手を何のためらいも無く握っていた。そう、こんな感じだったとあなたに言うのと、僕は……と言葉を続けてこう言いましたね。

ある日街を歩いていて見知らぬ女性とすれ違った。何歩か進んで何げなく振り返った。するとその女性も振り返っていた。そんな感じがな……と。

あなたは屈託の無い笑顔で空を見上げて言いましたね。私はその横顔にこの人のお嫁さんになりたい、ずっと一緒にいたいと、思いました。

あなたは私の良いところ、悪いところ、寂しがり屋なところ、せっかちなところ、

すべてをしつかり受け止めてくれましたね。

私はそれがとても嬉しかったのです。

「あなたの彼はどんな人？」って聞かれて、私はいつも「あったかい日だまりのような人」と答えてきました。

結婚した今もあなたは、あの頃のままの春のようにやわらかくてあったかい、日だまりのような人です。

猫背になっていた私の心に、青空を見上げ大きく深呼吸する事の喜びを教えてくださいあなた。

いつも私の事を海のように広い心で包み込んでくれるあなた。

私もあなたのようなあったかい女性になれば、といつも思っています。